

研究テーマ	伝達を考えた発想や表現の構想を練る活動を通して、生活の中のデザインの働きに 気づく力を育てるための美術科指導の在り方 ～中学校3学年「私の会社のマークデザイン」の実践を生かして～
-------	---

東海村立東海南中学校 教諭 千葉 美波

## I 研究テーマについて

中学校学習指導要領解説の第2学年及び第3学年の内容A表現(2)イ「伝えたい内容を多くの人々に伝えるために、形や色彩などの効果を生かして分かりやすさや美しさなどを考え、表現の構想を練ること」とあり、伝える対象を自分の身近な存在だけでなく、社会一般の人々へと広げていくことが求められている。

そこで、本研究のテーマを「伝達を考えた発想や表現の構想を練る活動を通して、生活の中のデザインの働きに気づく力を育てるための美術科指導の在り方」と設定し、伝達する相手のいる制作を通して、最終的には生活の中のデザインの働きに気づく力をもった生徒を育てたいと考えた。

本研究のテーマである「伝達を考えた発想や表現の構想を練る」ために、まず行ったのは、授業の進め方の検討である。生活の中で生徒が目にする多くの「マークデザイン」の制作を考えたが、発想や構想を練り上げ、さらに表現のオリジナリティーを高めるための工夫が必要である。そこで、生徒が会社を立ち上げ、「自分が立ち上げた会社のマークデザインを社長である生徒自らが考える」という設定にした。「自分が社長である」ということ、「社長自らがデザインする」ということで、生徒の制作意欲が持続し、主体的に取り組めることができる。また、伝える対象が社会一般の人々となる題材を扱うことで、受け手の印象を考えながら発想や表現の構想を練ることができるだろう。その際に、身近なマークデザインに込められた意味や工夫を取り扱うことで、身の回りに溢れているマークに興味をもち、今まで気が付いていなかった生活におけるデザインの働きに目を向けるきっかけにしたい。

以上のことから、本研究テーマに迫るために、中学校3学年「私の会社のマークデザイン」の実践を行った。

## II 研究の実際

### 1 題材名 「私の会社のマークデザイン」

### 2 題材の目標

- マークデザインに関心をもち、その目的や機能さらには調和のとれた美しさを味わおうとする。  
【関心・意欲・態度】
- 自分の考えた会社のイメージからデザインを豊かに発想し、形や色彩の効果を生かして構想を練ることができる。  
【発想や構想の能力】
- 構想に基づいて材料や用具を工夫し、制作の順序などを総合的に考え、見通しをもって表現することができる。  
【創造的な技能】
- 友達の作品を鑑賞し、マークに込められた意図や、形や色彩の効果を味わうことができる。  
【鑑賞の能力】

### 3 題材について

#### (1) 生徒の実態

生徒にとってマークは身近なものであるが、マークにこめられた意味やデザイン性について深く考えたという経験はない。事前の調査結果では、下記のような結果だった。

マークに関するアンケート (男子 18名 女子 16名 計 34名)	
1 右のマークは何の公募作品かわかりますか。 知っている 28名 知らない 6名	
2 1で知っているとした人は何のマークかを書いてください。 ・2020年の東京オリンピック 3名 ・東京オリンピック 20名 ・オリンピック 4名 ・知らない 1名	
3 カッコいいと思うマークはありますか。 ・オリンピックのマーク・トポ ・アディダス・ミズノ・コココーラ ・ナイキ	

マークを見て東京オリンピックの公募作品とわかった生徒が 82%だった。さらに、マークを知っていると答えた生徒の中で何のマークか知らないとした生徒が 1人いた。また、カッコいいと思うマークの有無では思い浮かばない生徒も多かったが、スポーツメーカーのマークを回答した生徒が何人かいた。日常的に使用しているマークに対する認識はある程度もっていると言えるが、マークの目的や機能を考えるまでには至っていないと考えられる。今回の授業では、自分自身が考えた会社のマークデザインを行うため、まずは、生徒にとって身近な企業のマークデザインを鑑賞し、単純化やデフォルメされたマークの良さや美しさに気づき、会社のイメージを相手に伝えるにはどのような工夫があるのか考えさせたい。そして、自分自身が興味関心のある架空の会社を考えイメージを膨らませ、文字や形、色彩の効果を生かして構想を練り、表現させることで、マークの目的や機能を十分に理解させたい。

#### (2) 題材観

本題材は、生徒が考えた架空の会社のイメージを相手に伝えるために、形や文字を組み合わせ、調和のとれた美しいマークをデザインするものである。自分の立ち上げた会社のマークデザイン制作をすることで、どうしたら会社のイメージを多くの人に伝えることができるかを考え、様々な工夫を凝らすことができる題材である。さらに今まで目を向けていなかった身の回りにあるデザインされたマークや文字に興味を示し、それらの計算し尽くされたデザインの美しさを味わうことが期待される。

#### (3) 指導観

導入時には、スライドを用いて代表的な会社のロゴマークを鑑賞させ、マークデザインへの関心を高めるようにする。そして、自分の興味関心のある分野から会社を考えさせることで、学習意欲を高めさせ、積極的にマークデザインに取り組めるようにする。その際には、デザインする上でコンセプトを明確にし、できるだけ様々なアイデアを出させるように支援する。アイデアをさらに練るために友達とお互いのアイデアを交流しながら、アドバイスをを行い、より調和のとれた美しいマークデザインになるよう指導にあたりたい。

#### 4 題材の評価規準

関心・意欲・態度	発想や構想の能力	創造的な技能	鑑賞の能力
マークデザインに関心をもち、その目的や機能、さらには調和のとれた美しさを味わおうとしている。	自分の考えた会社のイメージからデザインを豊かに発想し、形や色彩の効果を生かして構想を練っている。	構想に基づいて材料や用具を工夫し、制作の順序などを総合的に考え、見通しをもって表現している。	友達の作品を鑑賞し、マークに込められた意図や、形や色彩の効果を味わっている。

#### 5 指導と評価の計画（7時間扱い）

時間	学習内容・活動	評価規準・【評価方法】
第1次 ①	様々な会社のマークを鑑賞し、マークデザインに関心をもち、	・マークデザインに関心をもち、その目的や機能さらには調和のとれた美しさを味わおうとしている。 関【ワークシート】
第2次 ⑤	自分の会社を立ち上げ、マークデザインのコンセプトを考える。	・マークのデザインに関心をもち、自分の会社を考え構想を練っている。想【ワークシート】
	コンセプトにあった会社のマークを考え、アイデアスケッチをする。	・形や色彩などの効果を生かして、わかりやすさや美しさを考え構想を練っている。 想【ワークシート】
	相互鑑賞を行い アドバイスし合う。アドバイスを聞き、自分の作品に生かすことができる。	・構想に基づいて材料や用具を工夫し、制作の順序など総合的に考え、見通しをもって表現している。 想・鑑【ワークシート・発言】
	着色をする。	・表したいマークのイメージに対応した形や色彩を整理し、創造的に表現している。創【作品】
第3次 ①	友達の作品を鑑賞する。	・友達の作品を鑑賞し、マークに込められた意図や、形や色彩の効果を味わっている。 鑑【ワークシート】

#### 6 指導の実際

第1次 様々な会社のマークを鑑賞し、マークデザインに関心をもち、

○ 身近な会社のマークデザインを取り上げ、デザインに込められた背景や意味について知る。

○ 3つの会社のマークを取り上げ、マークデザインの意味についてワークシートを利用して考える。

- ①どんな会社か
  - ②社名の由来
  - ③マークデザインの意味
- について考えさせた。①と②が③に大きく関わっていることに気づかせたいと考え、3つの視点を与えた。

### 会社のマークに隠された秘密を探れ!!

3年4組 名前 \_\_\_\_\_

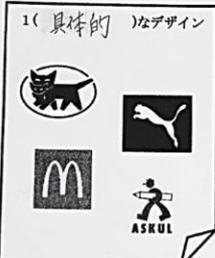
 <p><b>ASKUL</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● どんな会社か... ・文具も作っている。・家庭教師・事務用品</li> <li>● 社名の由来は... ・通販が明日比く。・明日来る→「ASKUL」</li> <li>● マークデザインの意味は... ・見かけのやる気を起こすのがデザイン。 ・鉛筆作ってもあれば「負けず」というメッセージ</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● どんな会社か... ・通販・Web通販サイト</li> <li>● 社名の由来は... ・広い範囲に届けようという願いを込めてアマゾン川の流域面積(広い範囲に販売できる)</li> <li>● マークデザインの意味は... ・矢印が会社がお客を導く。 ・「A」から「Z」の間に全商品があるという・笑顔を届けられる</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● どんな会社か... ・スポーツ用品</li> <li>● 社名の由来は... ・nice と like のかけ合わせ・勝利の女神「nike」から英語読み</li> <li>● マークデザインの意味は... ・上昇感・生けるも進み続ける。 ・勝利の女神像の羽の形から。</li> </ul>

会社のマークデザインが主に、

- ①具体的な形から考えられた物、
- ②文字から考えられた物、
- ③抽象的な形から考えられた物

の三つに分類されることを確認し、マークデザインについての理解を深めた。

●今までのマークを3つに分類しよう

<p>1 (具体的な)デザイン</p> 	<p>2 (文字から考案)のデザイン</p> 	<p>3 (抽象的)なデザイン</p> 
---	---	---

#### 授業を終えた生徒の感想

授業を終えた感想・・・

普段、何気なく見て使っているマークとか、XとかYとかは、その由来が面白い!!

授業を終えた感想・・・

何気なく見ているマークも、いろいろ意見が深く込められていることが、分かるものを見たいと思ってる

授業を終えた感想・・・

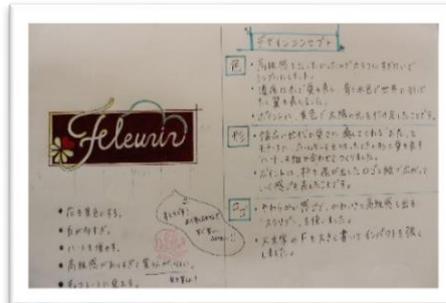
今まで見た数多くの会社のマークはそれぞれの会社にある 思いが込められているのを知って マークの意味を考えるのが楽しくなりました!!



生徒のアイディアスケッチ



次の中間鑑賞のために、アイディアの中から決定したデザインを描かせ、デザインコンセプトを明確にさせた。



○ ロールプレイングを取り入れた相互鑑賞を行い、アドバイスし合う。

2人組になり、社長役とデザイナー役に分かれ、鑑賞を行いアドバイスをし合うことで、友達の意見から、客観性を取り入れ作品に生かすことができた

デザイナー役は、作品を見ての率直な感想を言う。

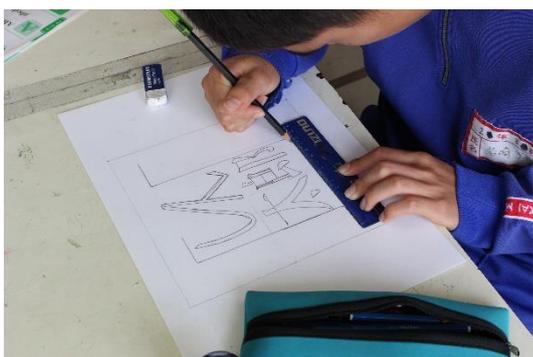


○ 鑑賞後、アドバイスをもとにデザイン案を再度練る。



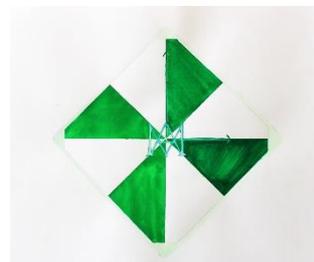
社長役は、マークに込めた自分の思いやセールスポイントを伝える。

○ ケント紙に決定したデザインを描き、着色をする。



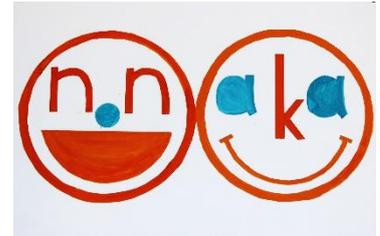
マスキングテープやレタリングブックを使い、美しく仕上げるようにした。

完成した生徒の作品



- 友達のを鑑賞する。

鑑賞する際には、「デザインが単純化されていて、美しいもの」と観る視点を与えて行った。



色に着目した生徒	文字に着目した生徒	形に着目した生徒
<p>作品を観て感じたこと</p> <p>角合いが優しい感じで見やすく、会社のイメージの結婚式場がマークで表されていてわかりやすいと思いました。また、あかい色もほのぼのとした感じと見やすくマークデザインとして良いと思いました。</p>	<p>作品を観て感じたこと</p> <p>「ダイヤモンド」のマークは、会社のロゴをゴシック体にする事で、ダンスウェアのかわさきを出していると思いました。また、色もほのぼのとした感じと見やすかったです。</p>	<p>作品を観て感じたこと</p> <p>「n.n」と見て目につくデザイン。「n.n.k」で笑顔表現、おもち屋さんという事で、子供の笑顔だろーと思った。子供が初めて認識する形がかわいいので、良いマークデザインだーと思った。</p>

### III 研究の成果と課題

#### 1 成果

(1) 生活の中で生徒が目にする事の多い「マークデザイン」の制作を考えたが、発想や構想を練り上げ、さらに表現のオリジナリティーを高めるために、生徒が会社を立ち上げ、「自分が立ち上げた会社のマークデザインを社長である生徒自らが考える」という設定にした。「自分が社長である」ということ、「社長自らがデザインする」ということで、今まで取り扱ってきた題材よりも表現の自由度が高くなったため、制作意欲が持続し、主体的に取り組めることができた。ただ単に作品制作を進めるのではなく、その制作に意味や役割を持たせることで、こんなにも生徒の意欲が引き出せることが分かった。中学校の美術の授業は週一回と少ないからこそ、その一時間を大切に、生徒が主体的に制作に取り組める授業を行いたいと思った。

(2) 本研究のテーマの「伝達を考えた発想や表現の構想を練る活動」を活発にするために、伝える対象を最初の段階で明確にした。その結果、マークデザインを考える時に、その対象に伝わるための形や色、ロゴを考えることができた。さらに、考えたマークデザインの意図が相手に伝わっているかどうかを確認するために、制作途中に相互鑑賞を入れたことで、客観的に自分の考えたマークについて見る視点をもつことができた。制作の最初から最後まで「誰に伝えるか」ということを明確にし、一貫性を持って取り組むことが有効的であることがわかった。

- (3) 本研究のテーマの最終目標である「生活の中のデザインの働きに気づく力」がどのくらい育ったかを確かめるために、アンケートを行った。

〈授業後の生徒アンケートより〉

- ① 授業を受ける前と受けた後では、マークデザインが目に残る回数は変化しましたか。  
・増えた 72%    ・変わらない 28%
- ② 今後、マークデザイン以外にもデザインについて学んでみたいと思いましたか。  
・はい 67%    ・いいえ 33%

今回の実践を行ったことで、7割近い生徒が、以前よりも生活の中にあるマークデザインに興味を示すようになったことが分かる。生徒の感想を読むと「一つのマークにたくさんの労力や手間、作り手の情熱が含まれていることがわかり、マークデザインが目に入るようになった」と答えていた。授業の導入で、身近なマークデザインの鑑賞を行い、制作に入ったことで、マークを見る側と作る側の両方を体験することができ、より一層、マークデザインへの興味関心が深まったのだと感じた。今回実践した授業展開を、今後の他の題材でも取り入れていきたい。

## 2 課題

- (1) マークデザインを考える際に、「デザインを単純化する」という条件を加えて制作した。しかし生徒は「単純化する」ことがどういうことなのかを理解するのに苦労してしまった。例えば、「マークを小さくしてもどんなマークだか分かるようなシンプルなデザインにすること」など具体的な説明が必要であった。教師側が意図することを生徒に伝える時には、できるだけ具体的に指示する必要があると感じた。さらに、視覚的にも訴えかけられるような教材を用意しておくのも有効だと感じた。
- (2) 完成した作品鑑賞の方法まで工夫できなかった。考えたマークデザインを、パソコンで取り込み、名刺に入れその名刺を交換しながら鑑賞するなど、もう一工夫取り入れられると、「私の会社のマークデザイン」の意識が制作だけでなく最後の鑑賞まで高まったのではないかと思った。

### ※参考資料

- 「中学校学習指導要領解説 美術編」 文部科学省  
「美術1 出会いと広がり」 日本文教出版  
「ロゴの秘密」 高橋書店